



国土交通省 千曲川河川事務所 記者発表資料

記者発表資料
平成25年11月21日

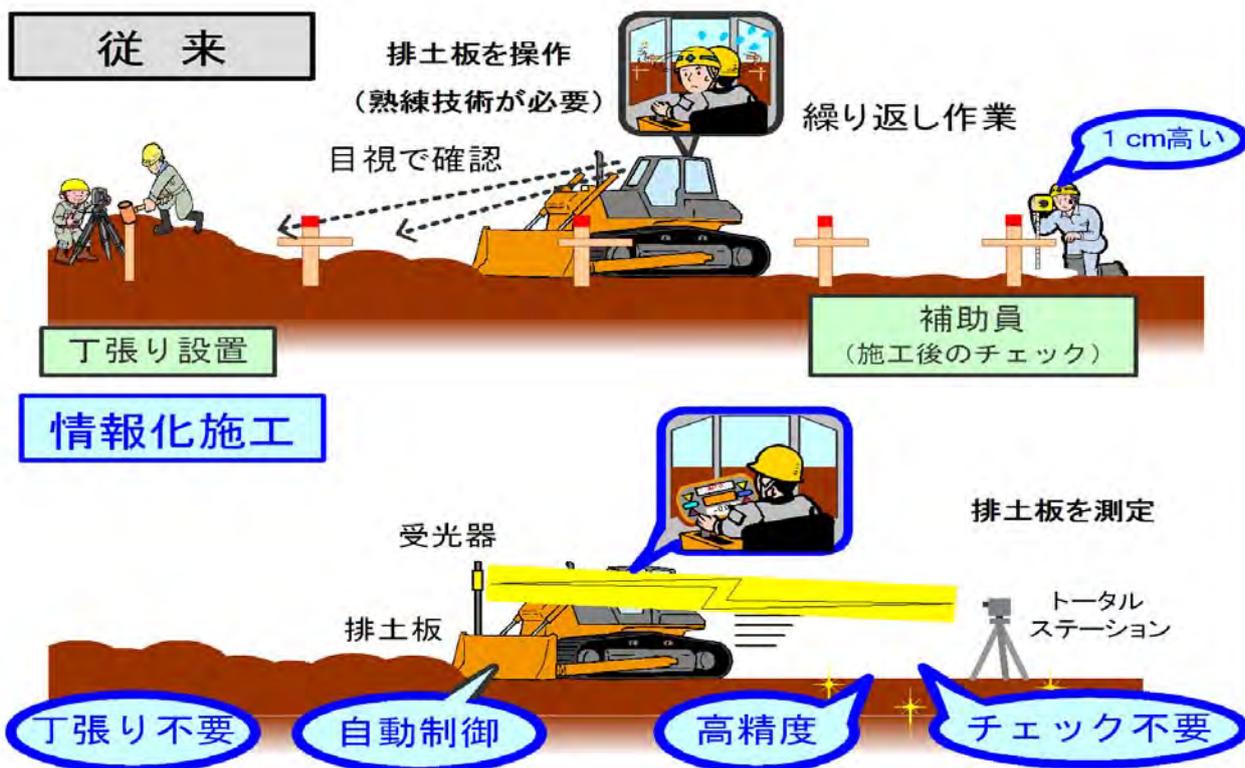
地元の技術系高校生が情報化施工を体験します。

千曲川河川事務所松本出張所が監督する小宮護岸工事では、情報化施工技術を活用し、工事の生産性向上や品質確保を行っています。

工事受注者が、長野県南安曇農業高校の生徒（土木系20名）に情報化施工技術を紹介、体験していただくことを通じ、安全で魅力的な建設業や公共事業のイメージアップに取り組みますので、ご案内いたします。

日時：平成25年11月26日（火）13時30分から【予備日11月28日（木）】
場所：小宮護岸工事現場（松本市小宮地先 犀川右岸74.5km付近）

（情報化施工のイメージ例）



※情報化施工とは・・・建設事業における「施工」において情報通信技術（ICT）の活用により、各プロセスから得られる電子情報をやりとりして高効率・高精度な施工を実現するものです。施工で得られる電子情報を施工後の維持管理等に活用することにより、建設生産プロセス全体における生産性の向上や品質の確保を図ることを目的としたシステムです。

【お問い合わせ先】

国土交通省北陸地方整備局 千曲川河川事務所 松本出張所
出張所長 大澤幸生 TEL. 0263(47)2199



千曲川河川事務所

検索

クリック

<http://www.hrr.mlit.go.jp/chikuma/>

(参考)

集合場所 位置図

